▼2日目決勝戦第３試合

戦評（得点経過）

決勝戦は広島経済大学と対戦。

１回裏１死から２番大橋が１-２から豪快にセンターバックスクリーンへ先制のホームランで１-０。３番和田は０-１からライト線にツーベースヒット、続く４番植田は１-０からライトオーバーのタイムリースリーベースヒットで２-０。５番望岡（海）の初球がワイルドピッチとなり植田が生還し３-０。望岡（海）が四球を選び１死１塁から６番有村は２-２からレフトスタンドへツーランホームランを叩き込み初回５点を先制。

２回には１死から１番望岡（遥）が初球をセンターバックスクリーンへソロホームランで６-０。５回裏この回先頭の４番植田がこの試合２本目となるスーベースヒットで出塁し無死三塁。１死から６番途中出場の髙田が２-１からレフトに高々と犠牲フライを打ち上げて植田が生還し規定により５回７点差コールドゲームとなり優勝。

守っては先発の下垣内が３回を被安打１４奪三振の好投、続く藤田も２回を被安打１３奪三振の完封リレーで優勝に花を添えた。 中国地区第一代表の権利を獲得した。

この優勝で１７年連続西日本インカレ、全日本インカレの出場が決定した。まだまだ修正する点もあり西日本インカレは７月１３日からと時間はありませんがしっかり準備をして６連覇を目指します。 中国地区大学連盟伊勢理事長をはじめ広島県ソフトボール協会の方々、本当にお世話になりました。